

令和5年度 小淵沢小学校 グランドデザイン

子ども・家庭・地域の実態

- 〈子ども〉
 - ・素直で明るくやさしい。一方でコロナの影響による学校が楽しくないといった負の面も出てきている。
- 〈家庭〉
 - ・行事への関心が高く、学校に協力的である。
- 〈地域〉
 - ・自然や人的資源が豊富である。

教育課題

- 豊かな心を育む教育活動の創造
- 確かな学力を保障する教育活動の創造
- お互いの教育力を連携・協力し合える学校・家庭・地域の創造
- 教職員の指導力(主として授業力・生徒指導力)を高める校内研修の充実

本校教職員の強み・弱み

- ・人間関係(同僚性や協働性)が築かれている。
- ・一生懸命に取り組み、自らを高めようとする意識を持っている。
- ・若手やミドルリーダーの育成が必要
- ・多忙化改善に向け意識改革等の取組が必要

学校教育目標

かしこく やさしく たくましく 小淵の子

めざす学校像

- ・子どもが通いたい学校
- ・保護者が通わせたい学校
- ・地域が応援したい学校
- ・教職員が働きたい学校

めざす児童像

自尊心の高い子

- 進んで学び 自分を高めようとする子
- 思いやりの心を持ち 素直で明るい子
- 心身を鍛え ねばり強くやりぬく子

めざす教師像

- ・子どもの気持ちになって考える教職員
- ・専門性を磨く教職員
- ・組織的・協働的に取り組む教職員
- ・率先垂範し、信頼される教職員

本年度の指導重点

やさしく(豊かな心)

【学級経営の充実】

○心の土壌づくり

・自己肯定感・自己有用感を高める取組

・思いやりや命の大切さを重視した道徳教育と人権教育の推進

・体験活動の充実と共生の心の育成

・読書活動や図書館利用の推進

○よりよい社会生活を送るための

基本的な生活習慣の確立

・心のこもった挨拶・返事、正しく温かみのある言葉づかいの奨励

・気持ち良い生活場所づくり(無言清掃の励行)と心の居場所づくり

・いじめや不登校の未然防止(SOSの出し方に関する教育の取組)

・時間を自己管理できる能力(ノーチャイム生活)の育成

かしこく(確かな学び)

【主体的・対話的で深い学びの実現
学習規律の徹底】

○授業の充実

・やまなしスタンダードを意識した授業改善

・地域の「人・もの・こと」の活用

○基礎的・基本的な知識及び技能の習得

・「わかった」「できた」「もっとやりたい」が実感できる学びの充実

・ICTを効果的に活用した授業の充実

○思考力・判断力・表現力等を育む言語活動の充実

・読む、聞く、書く、話す力を高める指導の工夫

・読書指導の充実

○家庭学習の充実

・授業と関連させた家庭学習の習慣化

たくましく(健康 体力)

○健康の保持増進

・家庭における基本的な生活習慣の啓発と学校給食を中心とした食育の推進

・健康に関する課題に対し、計画的・継続的な指導の推進

・自分の命を守る安全教育の充実

・新型コロナウイルス感染症対策として新しい生活様式の推進

○体力・運動能力の向上

・計画的で調和のとれた体育授業の充実

・年間を通じた体力づくりの奨励(縄跳び等)

原っぱ教育の推進(不屈の精神と大志を持った人材の育成)

学校経営の基本

- (1) 生きる力を支える確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成に努める。
- (2) 児童や地域の実態を考慮し、地域に根ざした特色ある教育「原っぱ教育」を推進する。
- (3) 家庭や地域との連携を大切に、理解と協力を得つつ教育活動を推進する。
- (4) 教職員が児童理解と指導力の向上に努め、互いに高め合う集団づくりに取り組む。

組織的な生徒指導

特別支援教育の充実

学校評価のPDCAサイクル

特色ある教育課程

保・幼・小・中の連携

家庭や地域との連携

校内(ICT等)研修の充実

職員の働き方改革

新型コロナ対策の徹底

学校運営協議会の活用